



# 台湾との経済交流促進による中小企業活性化事業

## 計画書

デジタル田園都市国家構想交付金

地方創生推進タイプ

中海・宍道湖・大山圏域市長会

# 目次



- はじめに
- 地方創生の実現における構造的な課題
- 地方創生としてめざす将来像
- 地域再生を図るために行う事業
- 重要業績評価指標（KPI）
- 参考

# はじめに



- 中海・宍道湖・大山圏域内の島根県松江市では、特産の牡丹を2006年に台北市内で行われた牡丹展示会に出展したこと縁に台北市と交流が始まり、2014年に台北市と「交流促進覚書」（5年間）を締結した。
- 更新の際に、経済交流をさらに進めていくといった方向性のもの、2022年に台北市と経済圏を一にする中海・宍道湖・大山圏域市長会は「交流促進覚書」の締結にいたった。
- これまで台北市で最大の花市「建国花市」に牡丹や圏域産品出展、観光PRなどを実施したほか、T Jコネクトフェア、フード台北へ参加支援を行ってきた。
- 本事業は、台北市と圏域市長会の覚書締結を契機に、これまでの交流に加え、台湾との経済交流の裾野を拡大することにより、中小企業の活性化を図り、圏域の地方創生、地域再生の実現にむけ、着実に歩みを進めていくことを目的とする。  
なお、本事業の進展にあたっては、地方再生計画を策定し、国の支援策を活用する。

# 地方創生の実現における構造的な課題



## ①構造的な課題

中海・宍道湖・大山圏域では、生産、消費等の場面で、地域外に資金が流出しているため、地域の家計や企業での所得増加につながっていない。

圏域には、特殊鋼生産で著名な安来市のプロテリアル安来製作所、出雲市の島根富士通、出雲村田製作所、米子市の王子製紙などの大手企業も在るが、多くは中小企業であり、圏域の主要な産業において事業所当たりの従業員数をみると、卸売業・小売業は7人/事業所、宿泊業、飲食サービス業は7.2人/事業所、医療・福祉は18.6人/事業所、製造業は22.7人/事業所となっている

## ②取組の方向性

○持続的な経済発展のためには、地域経済の要である中小企業の振興を積極的に図ることが必要

○特に人口増加や急速な経済成長により拡大する海外需要を積極的に取り組んでいくことは、今後も、人口減少による国内需要の縮小が予想される中、圏域内の中小企業が存続し成長していくためには重要

生産額と移輸出入収支額



# 地方創生としてめざす将来像



地方創生における、圏域のめざす将来像を第2期圏域版総合戦略に示している。

## ①将来像

○県境を越えた広域連携によりめざす姿

- 日本海側を代表する拠点
- 東アジアのゲートウェイ
- 定住人口の拡大および山陰地方における人口流出のダム効果

○基本目標「圏域人口60万人の維持」に掲げる姿

- 産業集積による仕事・雇用の創出
- 地域資源（ヒト・モノ）の発掘と磨き上げと国内外への発信
- 世界に誇れる歴史・文化のさらなる活用

## ②将来像を実現するための方向性

基本施策：住みたくなる圏域づくり

- 三つの施策の柱：① 国内外を視野に入れた力強い産業圏域の形成
- ② 未来をひらく交通ネットワークの形成
- ③ 恵まれた生活環境を生かした圏域の形成

※「国内外を視野に入れた力強い産業圏域の形成」においては、「インド（ケララ州）・台湾（台北市）との経済交流の拡大」を重要施策と位置付けている。

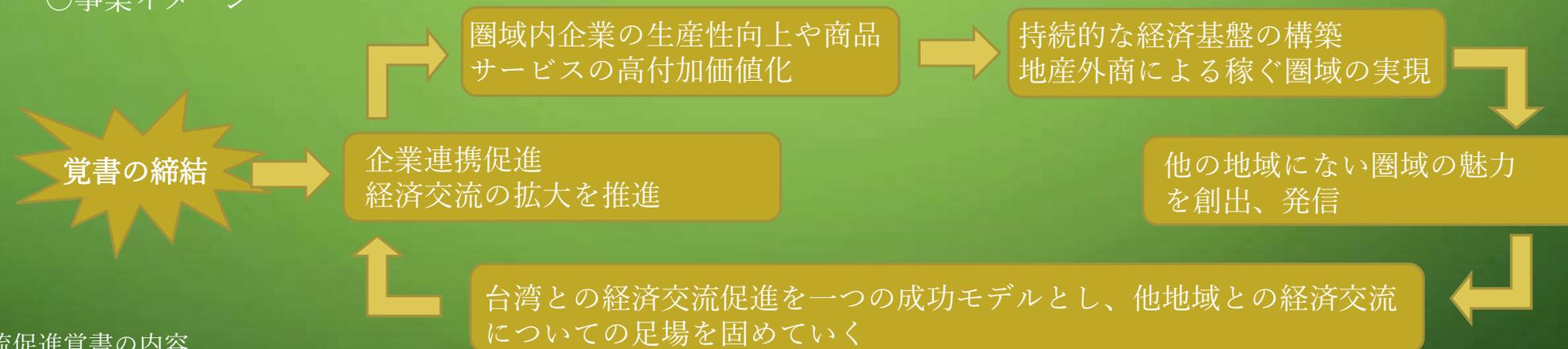
# 地域再生を図るために行う事業



## ①事業の概要

圏域市長会と台北市は双方の発展をめざすため、令和4年度に覚書を締結。圏域企業の海外進出の促進を図るため、覚書締結を契機とした台湾での経済活動支援を実施する。

### ○事業イメージ



### 交流促進覚書の内容

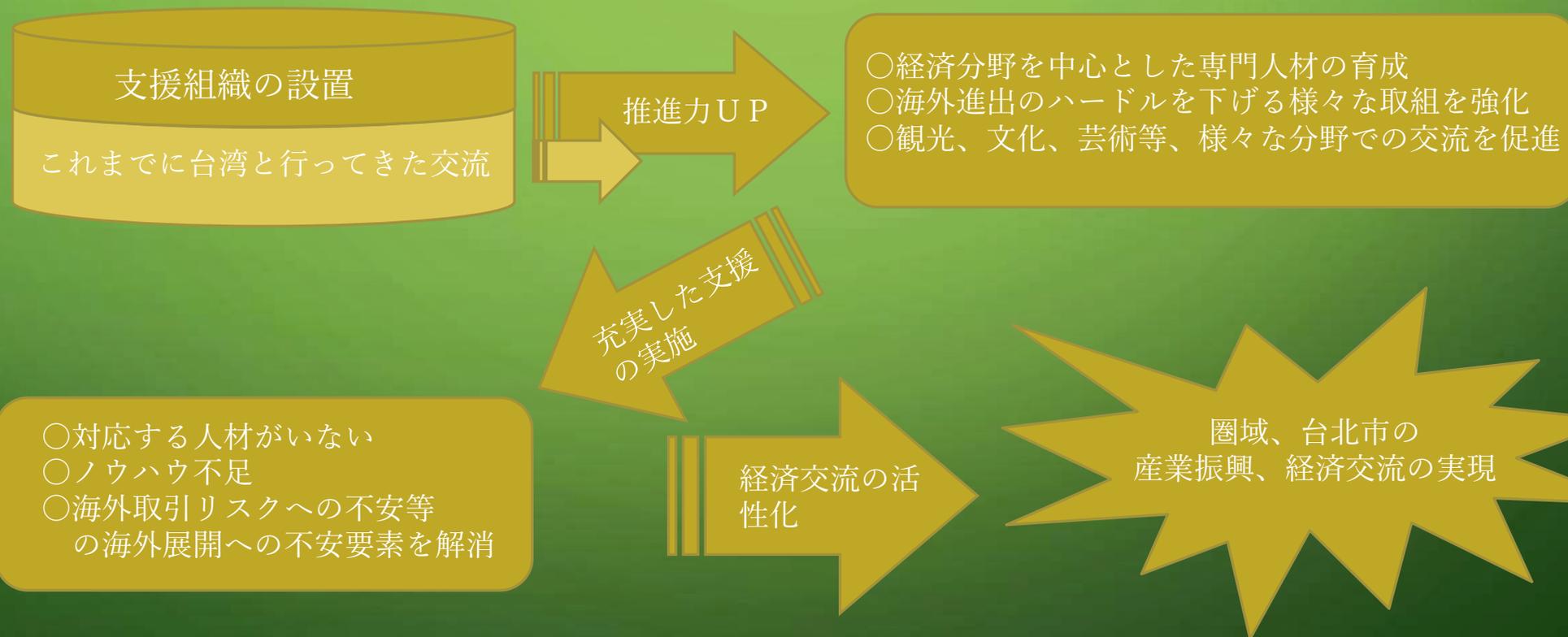
- 1 観光誘客・物産の促進に向けたプロモーション
- 2 産業・経済分野における連携・協力
- 3 青少年等による文化・芸術・スポーツ等の交流
- 4 そのほか、相互の発展のために必要な事業の実施及び支援

# 地域再生を図るために行う事業



## ②事業の方向性

支援組織による圏域の隘路の解消



# 地域再生を図るために行う事業



## ③事業の内容

本圏域においては、食品製造が多く集積し、台湾人の多くは、美食の追及という彼らの歴史的習慣から、日本料理にも強い関心を持っているため、食品関連商品の輸出、また台湾はデジタル技術において世界的にも競争力が高く、圏域にも一定のIT産業の集積があり、IT人材交流等の可能性があると考えられる。

今後は圏域の経済界と協力し、台湾事業中間支援組織を立ち上げ、台北におけるニーズ把握、圏域内企業のシーズの掘り起こし、台湾向け商品の提案、BtoBのビジネスマッチング開催などを実施する。

ア) 支援組織の設立及び運営  
・ 支援組織の設立及び運営

エ) 台湾向け商品の提案・開発  
・ 商品開発に向けた支援（委託）

イ) 経済分野を中心とした専門人材の育成  
・ セミナー等の開催  
・ 圏域人材の発掘（各市の台湾関係団体の交流促進等）

オ) BtoB ビジネスマッチングの開催（リアルとオンライン）  
・ オンラインによる、ビジネスマッチングの開催、参加  
・ 現地でのビジネスマッチング開催、参加

ウ) 台湾のニーズ調査及び圏域内企業のシーズ調査  
・ 圏域企業のアンケート調査の実施  
    ※海外展開を希望する商品・業種の確認等  
・ 圏域アンケートに基づき、台湾での動向調査（委託）

カ) 建国前花市及び台北温泉祭りを活用し圏域情報発信  
・ オンラインを活用した文化振興イベントの開催  
・ 現地での文化イベントの開催

# 地域再生を図るために行う事業



事業計画④	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度～
<b>ア) 支援組織の設立</b>				
・支援組織の設立（会場費・印刷費等）	→			
・支援組織の運営（会場費・印刷費・通信費）		→		
<b>イ) 経済分野を中心とした専門人材の育成</b>				
・セミナー等の開催（会場費・講師謝金等）	→			
・圏域人材の発掘（各市の台湾関係団体の交流促進等）	→			
<b>ウ) 台湾のニーズ調査及び圏域内企業のシーズ調査</b>				
・圏域企業の海外展開に関するアンケート調査の実施（委託）	→			
・圏域アンケートに基づき、台湾での動向調査（委託）	→			
<b>エ) 台湾向け商品の提案・開発</b>				
・販売戦略、商品、製品、サービス開発に向けた支援（委託）		→		
<b>オ) ビジネスマッチングの開催（リアルとオンライン）</b>				
・フード台北、TJ Connect Fair等への参加企業支援（委託）	→			
・BtoBビジネスマッチング開催、参加（委託）		→		
<b>カ) 建国花市及び台北温泉祭を活用し圏域情報発信</b>				
・建国花市及び台北温泉祭への参画（委託費・旅費）	→			
・オンラインを活用した文化振興イベントの開催（謝金、会場費）		→		→
・現地での文化イベントの開催（交通費・謝金）	→		→	

# 地域再生を図るために行う事業



(単位：千円)

事業計画④	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度～
<b>ア) 支援組織の設立</b>				
・ 支援組織の設立 (会場費・印刷費等)	300			
・ 支援組織の運営 (会場費・印刷費・通信費)		300	300	300
<b>イ) 経済分野を中心とした専門人材の育成</b>				
・ セミナー等の開催 (会場費・講師謝金等)	300	300		
・ 圏域人材の発掘 (各市の台湾関係団体の交流促進等)	0	0	0	0
<b>ウ) 台湾のニーズ調査及び圏域内企業のシーズ調査</b>				
・ 圏域企業の海外展開に関するアンケート調査の実施 (委託)	2,000			
・ 圏域アンケートに基づき、台湾での動向調査 (委託)	2,000			
<b>エ) 台湾向け商品の提案・開発</b>				
・ 販売戦略、商品、製品、サービス開発に向けた支援 (委託)		1,000	1,000	1,000
<b>オ) ビジネスマッチングの開催 (リアルとオンライン)</b>				
・ フード台北、TJ Connect Fair等への参加企業支援 (委託)	1,500	1,500	1,500	
・ BtoBビジネスマッチング開催、参加 (委託)		3,000	3,000	3,000
<b>カ) 建国花市及び台北温泉祭を活用し圏域情報発信</b>				
・ 建国花市及び台北温泉祭への参画 (委託費・旅費)	4,000(3200+800)	4,000(3200+800)	4,000(3200+800)	2,000
・ オンラインを活用した文化振興イベントの開催 (謝金、会場費)		500		500
・ 現地での文化イベントの開催 (交通費・謝金)	1,000		1,000	
<b>合計</b>	11,100	10,600	10,800	6,800

(単位：千円)

# 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月



項目	事業開始前 (現時点)	R5年度 増加分 1年目	R6年度 増加分 2年目	R7年度 増加分 3年目	R8年度 増加分 4年目	R9年度 増加分 5年目	KPI増加分 の累計
境港における台湾との貿易額(貨物の通関額)	4,725	5	15	15			35
商談会等におけるマッチング件数の割合		30	5	5			40
商談会等における成約及び成約見込み数の割合		10	5	5			20
台湾向け商品の作成・提案件数			5	5			10

# 参考 台湾との交流状況



区分	観光	物産	産業・経済	
			牡丹	他分野
BtoC	・建国花市	・建国花市	・建国花市	・取組み無
	・台北温泉祭			
BtoB	・台湾現地商談会	・TJPO商談会	・JAが輸出	・取組み無
	(DMO)			